

産業振興計画に関する市町村及び住民の方々との意見交換の概要

安芸地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
室戸市	<p>〈観光〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県東部からの観光ルートを作ることが大事。 ◆今年は東部博で観光客、メディアが多く来ているが、宿泊施設、多人数で飲食できる場所が少ないことなどが課題。 <p>新たな施策への提案・要望</p> <p>〈林業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○窯の新設には産振補助金が活用できるが、中古窯の改良に対して補助がない。 ◆現在の備長炭研修生制度では1窯に2人までとなっているが、もっと受け入れられる制度にしてほしい。 <p>〈観光〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○JRの東部博きっぷを東部博終了後も継続して使えたら効果があるのではないか。 <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国定公園を国立公園化したい。活用についてもっと県と連携を強くしたい。
安芸市	<p>〈農業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土佐鷹のブランド化を支えてきた農家はこだわりも強く、不満の声がある。 <p>〈外商〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県の支援により、商談会に出展する流れが出来てきた。 <p>〈観光〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆東部博をきっかけに、伊尾木洞など新たな観光スポットが出来た。 <p>新たな施策への提案・要望</p> <p>〈農業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユズ農地は車が入る道がないところを中心に廃れてきている。林業では作業道に補助が出るので、ユズについても、個人のためであっても道づくりへの補助ができないか。 ◆新規就農者や新技術導入の際の機材の導入などのバックアップ。 ◆トラクター作業などの作業毎に外注し、また、その外注を受けられるような組織作りをするといった高齢農家への支援。
東洋町	<p>〈外商〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海の駅は年間約530万円の黒字を出し順調だが、色んな形でバージョンアップをしていかないといけない。将来的には法人化も視野に検討している。 <p>〈移住〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆移住者を呼び込むための体制が役場も民間も弱い。 <p>〈観光〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修学旅行など小中学生にもサーフィンを体験してもらいたいが、泊まる施設がない。

安芸 地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
東 洋 町	<p>新たな施策への提案・要望</p> <p><農業></p> <p>○高齢化などで担い手の確保が厳しい状況にあり、人材確保の為、生産法人等を広域組織として立ち上げることを期待する。</p> <p><観光></p> <p>○ソフトに対する補助金がない。全国規模のイベントをするときは経済波及効果が大きいので、それに対する補助金を作ってほしい。</p>
奈 半 利 町	<p><農業></p> <p>○施設園芸でネックになるのがレンタルハウス。導入しようと思ってもJAとの関係で難しい状況。</p> <p>◆特産果樹である無花果への支援が行われていない。</p> <p><外商></p> <p>○ふるさと納税は、ひとつの外商手段であり、チャンスである。</p> <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><農業></p> <p>○中山間の農業を守るためにも、農機をリースできる仕組みが必要。法人化を図り、農機のリースにより、農地を守り、生産性を上げていくことが大事。</p> <p><観光></p> <p>○遍路道をもっと整備した方がいい。</p> <p>◆ダム放流による観光資源への影響を軽減できないか。</p>
田 野 町	<p><商工・観光></p> <p>◆塩の事業の拡大が止まっている。スピードアップを図ってほしい。</p> <p><その他></p> <p>○町単独での企業誘致が難しい中では、田野病院を1大企業と考えて、地域医療を産振と絡めて考えていきたい。</p> <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><農業></p> <p>◆土地がうまく移譲されていない。農業委員会等が汗をかいて、「使ってくれる人に使ってもらおう」という流れを作っていくべき。</p> <p><移住></p> <p>◆看護学校を設立する動きがある。医療職であれば雇用の場があるので、住宅不足を解決してもらいたい。</p>
安 田 町	<p><農業></p> <p>○ハウス園芸を復活していきたい。また、難しいとは思いますが、原料供給だけでなく、加工まで視野に入れて取り組んでいくことが必要と思っている。</p> <p><観光></p> <p>◆東部博によって交流人口が増えたという実感は薄く、まだ地域全体の機運が高まる</p>

安芸 地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
安田町	<p>という状況にはなっていない。</p> <p><移住> ○空き家はあるが、仏壇のことなどがあり、貸してもらうのは非常に困難。</p> <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><農業> ◆園芸連が土佐鷹ナスを高知ナスに一本化するという方針を出したが、県が推奨してきたブランドであり、付加価値もある。土佐鷹の名前を残して売ってほしい。</p> <p><観光> ◆中芸5ヶ町村、または、東部地域全体（徳島もあわせて）での広域観光の推進。</p>
北川村	<p><農業> ○ユズを軸にいかに村民の方の生活が成り立っていくかを考えているが、ユズだけでは生活できないのが現状。</p> <p><移住> ○空き家の借り受けは家財をそのままにしているという所が多く難しい。</p> <p><観光> ○東部9市町村の広域観光協議会の設立にあたっては、北川村観光協会や中芸観光協議会との整理が必要。市町村の負担の問題もある。</p> <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><農業> ○新規就農給付金や研修などについて、果樹は野菜と比べ未収益期間が長いので、それに合わせた期間の設定や、研修中の園地整備などについても緩和策をお願いしたい。 ○就農給付金は45歳までという制限があるので、今年度から45歳以上を対象とした給付金を村単で構えている。県でそういう制度を作ってもらえたら助かる。</p> <p><林業> ◆木材の生産となると道が必要だが、現在では山主に負担がある。山主の負担を減らせるような補助を検討してもらいたい。</p>
馬路村	<p><農業> ◆ユズを栽培したいという人はいるがユズ園がない。また、ユズ以外の収入源がない。</p> <p><外商> ○いろいろと商談会に出てみるのが大事。出ることで、新たな発見があり、販路拡大につながる。</p> <p><移住> ○Iターンは難しい。Uターンを攻めることがベター。馬路の名は売れていると思うが、住んでいただけることはなかなか難しい。 ○定住にこだわらず、3年間だけの移住も含めた施策も考えていきたい。</p>

安芸 地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
馬 路 村	<p>新たな施策への提案・要望</p> <p><林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中小規模の製材工場が安定的に県内市場に供給できるように、大規模な製材工場は県外の消費地に向けての外商の取り組みを進めてほしい。県としても、中小の製材工場が影響を受けることのないように考えてほしい。 ◆県の公共事業における県産木材の利用促進に向けた取り組みをもっと進めてほしい。
芸 西 村	<p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○園芸連への出荷だけでは、6次産業化、大規模化は難しい。 <p><移住></p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き家を借りられても、田舎の家はどこも面積が広く改修費用がかかる。 <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○レンタルハウスは、もっと安いハウスで十分。中古ハウスを改修して使ってもらう制度もあるが、既存農家の人から先に押さえて、新規就農者には回らない状況。 ○独立した人に対する繋ぎの支援策がない。 ◆耕作放棄地を活用した菜園ができるよう、行政・JA・地域の直販所が連携して、農機具の貸付等ができる仕組みを作ってほしい。